

感染状況・医療提供体制の分析(7月14日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (7月7日時点)	現在の数値 (7月14日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	14人 (0.7人)	52人 (2.8人)	→	<p>総括コメント</p> <p>レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要</p> <p>新規陽性者は<u>人口10万人当たり2.8人</u>と増加。クラスターも発生したが、陽性者における接触歴不明者も増加。東京都では新規陽性者増加が止まらず第四波を越え、大阪府や兵庫県でも新規陽性者が増加傾向にある。感染力の強いデルタ株の症例が全国で報告され、今後容易に感染拡大する可能性あり。<u>今後も気を緩めずワクチン接種も含めた感染対策を継続し、リバウンドを防ぐ必要がある。</u></p>
		60歳以上 (総数に占める割合)	3人 (21%)	6人 (12%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	9人	41人	→	
		県南西部	4人	11人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	11人	24人	
割合 (③/①)			79%	46%	→	
医療提供体制	④入院患者数	13人	7人	→	総括コメント レベル1. 通常の体制で対応可能と思われる	
	⑤確保病床における入院割合	3%	1%	→	入院患者減少も、宿泊療養者(29人)、自宅療養者(3人)と増加。予定手術など含め、通常の医療は提供できる体制である。	
	⑥重症者数	1人	1人	→		